

子どものいじめ問題について

摂津市人権協会は、2014（平成26）年度の方針に基づいて、「気づき」と「つながり」を合言葉として、今日までに計画した事業活動を積極かつ着実に進めています。

とりわけ、本年度は、多くの人権課題につながる『いじめ問題』（いじめ＝人権課題）を事業の柱として活動を進めてきました。

「いじめ問題」では、特に、昨今大きな社会問題となっています。子どものいじめ」について、学習を重ねてきています。

各学習会のあとに、「地域としていかに対応すべきか」について、真剣な議論を行い、活かせる方法を検討しています。学習会などの経過・内容につきましては、別紙1・2をご参照下さい。

学校・家庭を中心として、地域として何ができるのかを全員で考え、国の宝である子どもを、大人が大切に守っていかうではありませんか！



フィールドワーク



むすびの皆さんによる紙芝居劇の講演風景

常任委員によるフィールドワークが10月10日（金）18名の参加のもとで行われ、午前は羽曳野市、午後に西成区を訪れました。

羽曳野市向野地区では、二班に分かれて塩谷幸子支部長と風呂谷孝蔵さんのご案内でミートセンター・ひかり湯・あいあい保育園を視察させていただきました。

その後、羽曳野市立人権文化センターで塩谷さんから「諸施設の建設も含めたまちづくりの原点や、差別解消に向けて歩んでこられた道」などを聴講しました。

中でも、塩谷さん自身が体験されてきた「差別」の体験を聞き、身が引き締まる思いがしました。

質疑応答では、十数点の質問などが出されましたが、それに対して詳しく分かりや

すく対応していただきました。

西成区のあいりん地区では、石橋友美マネージャーのもとで、現地在住の人々（平均年齢76歳）がグループを組んで結成された「紙芝居劇むすび」による紙芝居を観劇しました。

（当日は、6名のメンバーが出演された）その後、二班にわかれ、グループの方の案内で、あいりんセンター・三角公園などを視察させていただきました。

参加者の感想から

・ 今回のフィールドワークは、両方とも内容が濃く、厳しい実情を見させていただきました。更なる理解が深まりました。

・ 人とのつながりと結びつきの大切さを痛感しました。など



ミートセンターでの視察・説明風景

校区活動報告

▼ 三中校区 ▲

① 人権フィールドワーク in 京都

日時 / 7月6日(日) 午前9時～午後5時

内容 / 韓国の文化、芸術を知る

京都府立植物園、高麗美術館、上賀茂神社

参加人数 / 10名



高麗美術館の庭で

② 街頭啓発

日時 / 8月21日(木) 午後4時～午後5時

内容 / テープ音声による呼びかけと、歩行者

や自転車に乗っている人たちに安全・

安心の声かけとティッシュを配る。

参加人数 / 8名

気持ちを伝える言い方

自己表現がつくる豊かな人間関係

他の人との関係の中で、お互いの言いたいことが違ったときに、相手にあわせて自分の気持ちを押し隠したり、逆に相手に対して攻撃的に主張したりしては、その関係はこじれてしまいます。

そういうときには、自分がどう思っているのかを率直に、誠実に相手に伝え、相手の気持ちにも耳を傾け、相手を理解しようとするのが、気持ちのやりとりを可能にします。

自分がどう思っているのかを率直に伝え、同時に相手の気持ちにも配慮した言い方を技術として身につけることは、人間関係をつくっていく最初の第一歩です。気持ちのやりとりは、豊かな人間関係をづくり自分の権利を尊重すると同時に、相手の権利を尊重することにもつながるのです。

『人権情報ガイド ゆまにてなになわ 28号』

大阪府府民文化部人権局 発行



今後の予定

○ 11月27日(木)、三者合同委員会の開催と

第1回ヒューマンセミナーの開催

常任委員会・推進団体代表者会議・推進委員

校区連絡会の三者で合同会議を行い、その後、

2014年度第1回ヒューマンセミナーを開催します。

・テーマ

「ケータイ・ネットと子どもの人権

～スマホ時代の子どものトラブル～」

・講師

若狭孝太郎さん

摂津市教育委員会次世代育成部次長

○ 12月5日(金)～11日(木) コミュニティプ

ラザ3階・コンベンションホールにて「人権教

育啓発作品展」が開催されます。

幼稚園・小学校・中学校・企業などから寄せ

られた多くの優秀な作品が展示され、毎年、多

くの入場者より好評をいただいております。

是非ご来場いただき、子どもの感性に触れて

いただければ幸いです。

※ 前号から10月末までの事業を掲載

